

## 令和4年度 政策討論会 第3分科会(第4回) 要点記録

- ・日時 令和4年10月21日(金)
- ・場所 議会会議室
- ・会議時間 10:00~10:45
- ・出席者

岸田 厚(座長)

友永 修(副座長)

反甫 旭

宇野 真悟

南 加代子

井舎 英生

京西 且哲

岡林 憲二

(座長、副座長以下は議席番号順)

### ・議事内容

1. 前回、魅力創造部産業政策課に、令和3年度「岸和田市テレワーク導入促進業務委託」事業について詳細な話を伺った。そこで抽出された課題に対する解決施策案について意見を出し合った。
2. 本市が進めている企業誘致事業は、工業用地の整備・確保など予算や時間等が必要であるので、短期事業の位置付けとして「サテライトオフィスの誘致」を加えるべきではないか。また、市街化調整区域でのオフィス建設に対する制限の緩和など制度改正も含めて必要ではないか。本市の強みである農業へのICT企業の参入を推進すべきではないか。その他、離職を防ぐためには、子育てや介護を担わなければならない方への環境整備が出来るような支援が必要ではないか。また、Uターンでの就職者に対する支援で人材確保に繋げる。また、どのような就労を希望しているかニーズ調査も必要である等々の意見が出された。
3. 各議員より出された意見で共通していたものは、“人脈の活用”がその一つである。その為にも、専門業者(コンサル等)への委託が必要である。また、市内通信インフラ事業者と連携し、通信インフラの整備充実と通信環境の補助制度など、各企業がサテライトオフィスの設置にあたり岸和田市を選択していただけるよう基盤整備も含め、提言書を作成したい。

4. 次回は、11月16日(水)10時～で、提言書(案)を提示し、その内容を諮る予定。

◎発言要旨は以下の通り(順不同)

●企業では、企業内保育の整備など就労しやすい職場環境を構築し、人材確保に努めるなど福利厚生面の充実が進んでいる。しかし、その分の経費の増加も想定される。それでも離職を防ぐことにより、企業にとっては人材という大きな損失をカバーしているものとする。これまでの育児や介護を理由に、離職する事態が起こることのない、ライフワークバランスに則った人材確保が進められるサポート環境がより整えられるよう支援が必要である。

●雇用の拡大・働く場所の拡充を目的とする「企業誘致の推進」が事業としてある。しかし、工業用地の整備・確保には相当の予算と時間が必要となるため中長期事業と位置付け、いま必要な働く場所の確保に効果的な「サテライトオフィスの誘致」を加えるべきと考える。ついては、事業推進のため次のとおり提言すべきである。

- 1、外部から専門コンサルタントを任期付き職員として採用する。
- 2、オフィスのリフォーム費用の補助制度をつくる。
- 3、高速ネット通信環境を公費で整備、通信費の補助制度をつくる。
- 4、政府の制度を調査し、補助金の活用にも努める。

●岸和田市を企業がサテライトオフィスに選んでいただける仕掛け作りが重要であり、本市の強みは農業である。GX、食糧安全保障、食料自給率などが話題となる中、農業へのICT企業の参入、またそれと関連したサテライトオフィスというのは可能性があると考えられる。一方、課題としては、市街化調整区域へのオフィスの建設制限などが考えられる。また、現在の岸和田市の産業誘致の施策は、阪南二区や、丘陵地区を対象に、工場誘致を想定している。サテライトオフィス誘致を考えるなら、条例などの変更が必要である。

本市の通信インフラ事業者との連携強化→光ファイバー等高速通信網の整備、データセンター等の活用、人材の受け入れ、勉強会・セミナー・イベントなどの開催推進を提言してはどうか。

●岸和田市には、学生・主婦層など若い人材が、たくさんいる。まずは、そういった方々が、どのような仕事を希望しているのかを分析することも重要だと思う。それから、岸和田出身者の人脈を活用することも大事で、中学や高校などの同窓会の人脈を活用し、全国のいろんな所で活躍している方々が岸和田市に戻ってきていただける施策も大事だと思う。

●サテライトオフィス開設については、IT 企業へのニーズ調査が必要である。3社聞き取り調査したが、最近は、自宅でリモートでのスタイルが定着し、Web 会議で事足りているようである。IT 企業のサテライトオフィス進出の目的は、優秀な開発人材確保でもあるが、岸和田周辺で可能かどうかである。3社への聞き取り調査では、岸和田周辺に特に魅力を感じないと言っている。岸和田市サテライトオフィスのモデルケースとして市内 IT 事業者と公民連携して新しく IT 企業を起業するのが良い。岸和田の新しい IT 企業は、市役所業務の IT アプリなどの開発サービスを行うと共に民間への IT 支援を行う。この岸和田版の IT サテライトオフィスの稼働成功により、他の IT 企業のサテライト進出を誘発する。IT アプリ開発には、職業能力開発大学校や産業高校などの人材を活用する。3社への聞き取りであるが、岸和田よりも更に遠い温泉地など特色ある地方都市であれば企業ニーズがあるかも知れない。

●人材の確保の面でUターンでの就職者に対する支援も必要だと思う。例えば、サテライトオフィスを利用する条件で東京への交通費の支援など検討してはどうか。